

No.1599

第1600回例会

2013年11月1日(金) 12:30～13:30
点鐘

君が代斉唱

ロータリーソング“奉仕の理想”

会食(和食・\$100万ミール)

会長会務

- * ビジター・ゲスト紹介。
- * 11月はロータリー財団月間です。
- * 本例会も今日で1600回を迎えることになりました。

- * 木の話(15) 秋の日当たりで小豆色に熟した果実がとても美しく、食べると甘酸っぱく美味しいザクロについてお話します。



ザクロの果実

- * 11月の結婚祝を差し上げます。
児島 良 田中章夫 田淵敏夫 本荘弘幸
山下聖児 米本哲人 米花廉友 倭島昭博の各
会員

幹事報告

- * 次週は移動夜間例会です。18:30～ジャパンスです。お間違えないように。
- * 例会終了後、定例理事会を開催いたします。

委員会報告

- * 親睦活動・出席委員会
出席率・スマイル報告
- * 雑誌委員会 * その他

卓話「青少年のネット環境について」

鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員
法務省人権擁護委員 今度珠美さん

先週(第1599回例会)の記録

2013年10月25日(金) 18:30～19:30
会長会務

- * 10月20日に開催された東部5RC合同コンペでは当クラブが見事優勝したと伺いました。参加された皆様、お疲れ様でした。そして、おめでとうございます。

- * 木の話(14) 今日(14)は8月中旬から秋にかけて、美味しい果実が沢山熟れては、私たちの食卓を賑わす、クワ科のイチジクについてお話いたします。

イチジクは桑やコウゾと同じクワ科の樹木です。落葉小高木で幹の高さは2～6m、木の皮は灰白色、葉は互生で卵状心臟形、葉の途中から普通5つに割れています。鮮やかな緑色ですが、表面はざらついています。

イチジクはトルコ・アフガニスタンが原産地で、日本に寛永年間(1624年頃)にポルトガル人によって、伝えられました。イチジクは雌雄異株ですが、その時雌株だけが入りました。今ある美しいイチジクは、春に咲いた雌花が受精なしで立派な果囊に成長するのです。

子供の頃、最初に売れる実を花イチジクと聞き、とても大きく美味しかったことが忘れられません。

日本では種が出来ませんので、挿木で繁殖し全国に普及しました。

幹事報告

- * 11月8日(金)は例会場ニューオータニが使えませので、移動夜間例会といたします。
18:30～ ジャパンスです。

出席率

10月25日 会員52名 欠席14名 73.07%
10月11日 メーキャップ 5名 82.69%

ビジター

鳥取RC 12名 鳥取北RC 2名

鳥取中央 RC 3名

合計17名

スマイル

- *西尾 茂会員 / 児島 良さん、本日の卓話よろしくお願いたします。
- *竹内 隆会員 / 今夜の夜間例会はちょっと物足りないように思います。
- *岡田信俊会員 / 児島会員さん、本日は卓話をよろしくお願致します。
- *米本哲人会員 / 18日の職場訪問、欠席しましたので。
- *葉狩弘一会員 / 5クラブ対抗ゴルフ大会、我がクラブ団体戦二連覇です。
- *田中章夫会員 / 5クラブ対抗ゴルフで優勝してしまいました。普段の行いのお陰です。団体戦では、間違いなく葉狩会員より貢献しました。
- *岡本安量会員 / 第2回会長杯優勝。
- *岩ノ上洋一郎会員 / 岸本先生、米本先生はじめ、西輪句会の皆様、伊藤尚文さんがお世話になりました。また吉田さん、林さん、ありがとうございました。
- *油谷博文会員 / 夜例会の日、昼に出席した人は、メーキャップとして夜は免除になりませんか。
- *岸本 潤会員 / いつの間にか33年で驚いています。皆勤賞、ありがとうございました。
- *田淵敏夫会員・田中宏和会員 / 皆勤表彰。
- *瀧本浩志会員 / 結婚23年迎えられたことに感謝いたします。皆様のご指導、よろしくお願いたします。
- *早退・遅刻4件

合計27,000円

ゴルフスマイル

- *岡本安量会員 / 優勝です。ありがとうございました。楽しい一日でした。
- *岩ノ上洋一郎会員 / 東部5RC対抗戦、ありがとうございました。西RC団体優勝！田中章夫さん個人優勝！！第2回会長杯、岡本さん優勝おめでとうございます。西RC参加6名中、4名の方が賞品獲得しました。

合計4,000円

IDM 日程報告 (時間はいずれも18:30) —

- 第1班 11月11日(月) ジャパンス
- 第2班 11月 1日(金) たき乃蔵
- 第3班 11月 5日(火) ジャパンス
- 第4班 11月 6日(水) 花のれん
- 第5班 11月13日(水) 花のれん

ゴルフ同好会 岩ノ上洋一郎会員 —

10月20日(日)は当クラブがホストで東部5RC合同親睦ゴルフコンペが開催されました。我がクラブが見事昨年に続いて、団体戦優勝で二連覇を達成しました。個人戦では田中章夫会員が優勝されました。参加された6名の会員の皆様、お疲れ様でした。

第2回西尾会長杯の優勝は岡本会員でした。

卓話「湖山池の現状について」

会員 児島 良さん

1. 湖山池はもともと海だったが、約700年前の室町時代、千代川により中国山地から運ばれた土砂と、海からの波で押し寄せられた砂により、海から遮断され湖山池ができ、その時に水を排出するため湖山川ができた。
2. 湖山川は千代川の汽水域とつながっていたが、千代川の氾濫を防ぐため、それまでは曲がって細くなっていた河口部分を改修してまっすぐにした。この改修によって、千代川とつながっていた湖山川は直接海とつながってしまった。このことで、海から海水が浸入して農業に影響を与えるようになってしまった。
3. そこで、水門操作で塩分濃度を下げたが、水の循環がなくなり水質の悪化やアオコ、ヒシが大量に発生し、漁業もまた深刻な被害を受け漁獲量が激減した。
4. 平成24年3月から水の循環を図り、水質改善と漁業振興のため水門の開放を行なった。
5. 開放後、見た目ではきれいになり、クラゲやサヨリの泳ぐ姿が確認できた。また、フジツボが大量発生して、ハゼやフグまで釣れるようになり、最近ではアザラシまで姿を見せている。
6. 逆にフナやボラ等の大量死が起こるようになった。流入する河川や農業廃水路に濃い塩分や酸素欠乏から大量のフナやコイが逃げてきた。また海産魚や回遊魚、ゴカイ類やシジミは増えたが、淡水魚などユスリカの幼虫は減少している。
7. 塩分濃度は、当初目標としていた東郷池なみの2,000~5,000mg/lはるかに超えて、中海の8,000mg/lを超えるところにまでなっている。
8. この塩分濃度が高くなると、淡水魚の滅亡、衰退など生態系に多大な影響を及ぼし、貧酸素状態となって魚介類への影響が大きく、水質悪化の要因となっている。
9. 塩分濃度を下げようと水門を閉鎖すれば、益々貧酸素状態となる。貧酸素状態を解消しようと水門を開ければ、海水流入によって塩分濃度が上昇するという、負のスパイラルに陥っている状態である。
10. 対策としては、湖山川下流の汽水域化しかないとは私は県に提言している。県市ともその打開に向けてあらゆる対策を検討している段階である。

次週例会予定

2013年11月8日(金) 第1601回例会
夜間例会 18:30~ ジャパンス